

# 昭和 地域ニュース

No. 50

令和5年(2023年)  
10月号

発行 中野区昭和区民活動センター運営委員会  
編集 広報部会 昭和地域ニュース編集会議  
〒164-0001 中野区中野 6-16-20  
TEL : 03(3368)8164  
FAX : 03(3368)8168  
E-mail:nakano\_showa@nifty.com  
http://www.nakano-showa.gr.jp/



↑ 旧中野区庁舎  
← 大しや(和洋酒 食料品)

『中野区 文化の葉』中野区民新聞社  
(昭和32年10月1日)発行より

## 中野早稲田通商店会 物語②

前号に引き続き、中野早稲田通商店会の物語の特集です。座談会の続きと、地域の方々から集めたお話を掲載いたします。

大妻中野中学校・高等学校は以前文園高等女学校という名前だったんですね。

齊藤：新校舎に建替えられる前の大妻の校舎は、今より北側にあり、今の校舎の所には20年くらい前まで、ゴルフの練習場がありました。私はよくゴルフの練習に行き、早稲田通りを挟んで向かい側にあったゴルフ用品店で、クラブを買いました。

橋本：そのゴルフ用品店の並びのすみれ公園の入り口は、以前はすごく狭かったですね。原サイクルは、今はすみれ公園の南側にありますが、以前は早稲田通り沿いでした。

高須：普通の自転車は売らず、オリジナルのカスタム自転車などで、マニアの間では有名です。

齊藤：すみれ公園のそばにあった金魚屋は、その前は石油や灯油のお店で、その前は炭屋でした。昔はどこ家庭でも、料理や暖房に炭や練炭を使い、風呂も薪で焚いていました。炭屋さんは商売が成り立たず、変わっていきました。

高須：ふれあいロード商店会は、北と南の二つになっていますが、他にもそういう所はありますね。

佐藤：薬師柳通りもそうですね。町会も違う。橋本：柳通りは昔花街で有名でした。今もその雰囲気が残っています。

幸いなことにこの地域は第二次世界大戦中戦災に遭わず、ずっと存続しています。今後も商店会が続いてほしいですね。

佐藤：今後の商店会はどうなるのでしょうか。商店が少なくなっていくと、近隣の商店会が統合することも考えられるのでしょうか。

橋本：私は中野文具組合の会長だったんですが、組合を解散させたんです。加盟店の全部が、後継ぎゼロなんです。早稲田通商店会も役員のなり手がいないから、将来的には解散してもいいのではないかと話したら、齊藤さんが会長に就任した時に、中野区のだ真ん中の商店会だから残さなくてはいけない、と言われました。

齊藤：早稲田通りの北と南をつなぐ商店会ですから、存続させていきたいと思います。

佐藤：がんばれ齊藤会長、と皆で応援します。

### どんどん変わる街並み 千葉 光代

小学校低学年の時に(昭和33年から35年頃)、私は母に頼まれて、よくお米屋さんや薬屋さんにお使いに行きました。薬屋さんでは『回効散』という頭痛薬を買いました。お店の名前はエビス薬局とかホテイ薬局とか、七福神の名前が付いていました。水原商店という店では量り売りのミシン油を買いました。私が店のおじさんに持って行った小ピンを渡すと、おじさんはガラス容器から、ミシン油をひしゃくですくって、じょうごを小瓶の上に乗せて油を入れてくれました。金色のミシン油が、小さなピンにスーッと入っていくのを見るのが本当に好きでした。キラ、キラ、キラと、とってもきれいでした。

中央マンションの1階、今のスギ薬局は50年以上前中央ストアというスーパーマーケットでした。当時スーパーは珍しく、備え付けのかごに欲しい商品を入れ、最後にまとめてお金を払うシステムにびっくりしました。その中央ストアは1~2年で閉店し、もっとびっくりしました。

私が憶えているのは、大阪屋という果実店と南部せんべいのお店です。令和になっても街はどんどん変わっていきます。新しくなるのは良いことだと思いますが、街の小さな歴史に思い巡らすことも大切だと思います。



3歳頃の筆者。昭和30年代の床屋さん。大人の椅子の上に子ども用の台を置いています。

以下の文章は『すてっぷ通信』(運営委員会支えあい部会発行)に、令和3年5月に書かれたものです。

### 昭和3年から令和3年へ 林 キ又(代筆 千葉 光代)

私は早稲田通りのスギ薬局の近くで、お茶屋を営んでいます。昭和3年に、私の両親がこの場所で店を開きました。父は静岡、母は狭山の出身です。開店して間もなく私が生まれたので、私と店は同年齢で、今年93歳です。昭和の初め頃は、通りは舗装されず両側に草が広がっていました。馬が荷車を引いて通っていました。戦争中、店は空襲に遭わずに済み、私も青梅に疎開して無事でした。

戦後、通りは舗装され、自動車が走り、周りに店が増えてきました。昭和30年代には町はにぎやかになりました。個人商店がたくさんできました。

けれど、昭和40年代になると、小さな家や商店の一部が移転して、大型のビルが建てられ、町の様子もずいぶん変わりました。それから、平成、令和と時は流れ、ビルが増えて、見上げると首が痛くなります。残念なことは、近所のお茶屋が、最近次々と閉店したことです。

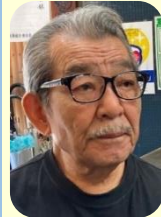
私の店は頑張っていました。今年、令和3年6月末日で閉店することになりました。思えば、町会の皆さまには大変お世話になりました。長い間役員を務めさせていただき、ラジオ体操やバスハイク、祭礼にも楽しく参加させていただきました。店にお茶を買いにいらしたお客さまと、長椅子に座り、お茶を飲みながらおしゃべりするのはとても楽しいです。

5月の新茶販売の時期を迎えました。新茶販売は、お茶屋にとって1年で最も晴れがましい行事です。フィナーレを飾ってから、店を閉めます。皆さま、長い間ありがとうございました。



狭山園

### 時代と共に 栗原 一英



私は現在80歳で、この地域に住んで60年になります。今では、ほぼ最古参になりました。建築デザインをしています。白蓮堂のデザインもしました。妻は、以前「せぶうる」というコーヒーとシチュウの店をやっていました。

白蓮堂の齊藤謙治さんのお父さんが商店会の会長だった時、10年間くらい一緒に役員をしていました。昭和30・40年代の商店会は賑やかで活気がありました。皆で無尽(相互扶助の性質を持つ金融手段)もしていました。昭和通りの名称が早稲田通りになる時(昭和41年10月)、当時の齊藤会長が歩道の植込みにアジサイを植えてアジサイ通りにしようとして提案しました。南側の歩道は賛同を得てアジサイを植えました。北側は陽当たりが良すぎて、半日陰を好むアジサイには良くない、と反対され、アジサイ通りは実現しませんでした。その後、アジサイは次第に減っていきました。

私は、現在の街路灯の先代の街路灯をデザインしました。今のように街が明るい時代ではなかったもので、照明が歩道と車道をともに照らすデザインにして、早稲田通りのライトアップを目指しました。また、商店会を活気づけるため、商店の方々の福利厚生のために、昭三公園でイベントを始めました。焼きそばやかき氷などの模擬店、ビンゴ大会などを行い盛り上がりしました。

商店会は時代を反映します。昭和時代が消えていき、引き続き営業している店は、数えるほどになりました。このところ新しい店が増え始め、新たな息吹を感じます。人がいて、商店があり、イベントがあり、皆が元気になる。そんな商店会になって欲しいと思います。

### 我が家のアイドル

中野6丁目Kさん宅のわんちゃんたち



サラ シルケンウインドハウンドの女の子



サラとララ(ウイペット)



ベア ウイペットの女の子



ソフィア シルケンウインドハウンドの女の子



イナ 7月のお誕生日 手作りケーキで



ナナセ トイプードル



ルルたろう 我が家唯一の男の子

ナナセちゃんルルたろうくんは保護犬です。里親募集中!!

お問合せは運営委員会事務局へ